

戦略的芸術文化創造推進事業  
5年成果報告書

団体名称	公益財団法人新国立劇場運営財団
担当者連絡先	(担当部署) 総務部会計課 (氏名) 財務企画係 / 辻 一穂 (電話) 03-5352-5724 (アドレス) gr_nntt_zaimukikaku@nntt.jac.go.jp / tsuji_k2016@nntt.jac.go.jp

1. 事業内容

課題	課題 i : 我が国の文化芸術による国家ブランドの構築と経済的価値等の創出や国際発信力を高めるための新たな展開に関する取組
事業名	《新国立劇場によるオペラを通じた国家ブランドの構築と国際発信力向上事業》
事業期間	平成30年5月1日 ~ 令和5年3月31日 ※契約期間を記載
事業内容	別紙参照  ※事業年ごとの内容を記載。 ※写真等のデータを用い、詳細を記載すること。
URL	平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業 オペラ「紫苑物語」 <a href="https://www.nntt.jac.go.jp/opera/asters/">https://www.nntt.jac.go.jp/opera/asters/</a>  2019年度(平成31年度/令和元年度)戦略的芸術文化創造推進事業 オペラ「トゥーランドット」 <a href="https://www.nntt.jac.go.jp/opera/turandot/">https://www.nntt.jac.go.jp/opera/turandot/</a>  令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業 オペラ「アルマゲドンの夢」 <a href="https://www.nntt.jac.go.jp/opera/armageddon/">https://www.nntt.jac.go.jp/opera/armageddon/</a>  令和3年度戦略的芸術文化創造推進事業 オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 <a href="https://www.nntt.jac.go.jp/opera/diemeistersingervonnurnberg/">https://www.nntt.jac.go.jp/opera/diemeistersingervonnurnberg/</a>  令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業 オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」 <a href="https://www.nntt.jac.go.jp/opera/borisgodunov/">https://www.nntt.jac.go.jp/opera/borisgodunov/</a>  ※成果報告の内容が分かるページを記載

2. 事業の目標・成果

1 公演数・観客数等定量的な成果について 各年度の実績及び次年度に向けての取組みについて記載。				
初年度における 5年後目標	(単位: )	H30	H31 (R1)	R2
<b>①海外公演を視野に入れた世界水準と評価されるオペラの制作件数: 5件</b>  <b>②新国立劇場における外国人のチケット購入枚数: 平成28年度比200%</b> <b>※令和2年度に「平成28年度比300%」に上方修正</b> <b>※令和3年度に「平成28年度比200%」に再修正</b>	単年度目標	①1件 ②平成28年度比120%	①1件 ②平成28年度比140%	①1件 ②平成28年度比230%
	実績	①1件 ②平成28年度比182.4%	①1件 ②平成28年度比233.3%	①1件 ②平成28年度比45.0%
	各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	H31年度に向けて… ①オペラ「紫苑物語」(創作委嘱作品)を上演した。H31年度にオペラ「トゥーランドット」(共同制作)を制作する。 ②初年度設定の目標値の達成を前倒しして目指す。	R2年度に向けて… ①オペラ「トゥーランドット」(共同制作)を上演した。R2年度にオペラ「アルマゲドンの夢」(創作委嘱作品)を制作する。 ②初年度設定の目標値を達成したので、R2年度より目標値を上方修正する。	R3年度に向けて… ①オペラ「アルマゲドンの夢」(創作委嘱作品)を上演した。R3年度にオペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」(国際共同制作)を制作する。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に減少したため、初年度設定の目標値に再修正すると共に、売上回復を目指す。
	(単位: )	R3	R4	達成率
	単年度目標	①1件 ②平成28年度比100%	①1件 ②平成28年度比200%	①100% ②157.1%
実績	①1件 ②平成28年度比154.3%	①1件 ②平成28年度比314.1%		
各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	R4年度に向けて… ①オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」(国際共同制作)を上演した。R4年度にオペラ「ボリス・ゴドゥノフ」(国際共同制作)を制作する。 ②再修正した初年度設定の目標値の達成を目指す。	R5年度以降に向けて… ①オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」(国際共同制作)を上演した。引き続き世界水準のオペラを制作する。R5年度にオペラ「シモン・ボッカネグラ」(国際共同制作)を予定している。 ②R2年度に上方修正した目標値を達成した。R4年度を基準にして、引き続き成長を目指す。	(達成率の根拠) ①R4年度実績: 5件/初年度目標: 5件 ②R4年度実績: 314.1%/再修正(初年度)目標: 200% ※R4年度実績: 314.1%/上方修正目標: 300%=達成率104.7%	
2 <課題解決>における成果について 「我が国の文化芸術による国家ブランドの構築と経済的価値等の創出や国際発信力を高めるための新たな展開に関する取組」について、各年度において課題解決のための取組目標及び事業実施による成果・変化、次年度に向けての取組を記載。				
初年度における 5年後目標と現状		H30	H31 (R1)	R2
<b>①国内拠点劇場との連携協定: 5件</b> <b>※令和2年度に「6件」に上方修正</b>  <b>②国際共同制作/海外劇場等での上演: 3件</b>  <b>③新国立劇場の持つ世界水準のオペラの英語字幕化: 10本</b> <b>※令和2年度に「ラインナップ公演での完全実施化」に上方修正</b>  <b>④新国立劇場制作演目の映像配信の国外再生数: 1,000回</b> <b>※令和3年度に新規目標として設定</b>  <b>⑤新国立劇場制作演目の国外における映像活用本数: 2本</b> <b>※令和3年度に新規目標として設定</b>	単年度目標	①3件 ②なし ③2本	①3件 ②2件 ③8本	①1件 ②なし ③全演目
	実績	①2件(ほか、4月に1件締結済み) ②なし ③2本	①3件 ②2件 ③7本(ほか1本英語字幕製作。但し新型コロナウイルスの影響により公演中止)	①0件 ②なし ③全演目(中止公演を除く6演目)
	各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	H31年度に向けて… ①(札幌文化芸術劇場、)東京文化会館、びわ湖ホールと協定締結。他劇場とも連携を図る。 ②海外で2件上演予定。 ③英語字幕の公演を増やす。	R2年度に向けて… ①富山芸術文化ホール、ロームシアター京都、穂の国とよはし芸術劇場と協定締結。初年度設定の目標値を達成したので、R2年度より目標値を上方修正して、他劇場とも連携を図る。 ②オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」をザルツブルク・イースター音楽祭、ザクセン州立歌劇場でH31年4月、R2年1月に実施、オペラ「ルチア」をバレンシア州立ソフィア王妃芸術宮殿でR1年6-7月に実施。 ③中止公演での実施予定を含めて初年度設定の目標値を達成したので、R2年度より目標値を上方修正して、ラインナップ公演の全演目で英語字幕を実施する。	R3年度に向けて… ①協定締結済みの劇場のほか、他劇場とも連携を図る。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した公演を除き、全演目で英語字幕を実施した。引き続きラインナップ公演の全演目で英語字幕を実施する。 ③新型コロナウイルス感染拡大の影響により訪日観光客へのチケット販売が見込めない中でも、新国立劇場の国際市場におけるブランド確立を目指す。
	(単位: )	R3	R4	達成率
	単年度目標	①1件 ②なし ③全演目 ④1,000回 ⑤2本	①0件 ②1件 ③全演目 ④1,000回 ⑤2本	①100% ②100% ③100% ④6,224% ⑤400%
実績	①1件 ②なし ③全演目 ④23,803回 ⑤3本	①0件 ②1件(公演中止。但し、数年のうちに上演予定) ③全演目 ④38,437回 ⑤5本		
各年度における実績を元に、次年度に向けての課題や取組み	R4年度に向けて… ①上田市交流文化芸術センターと協定締結。協定締結済みの劇場のほか、他劇場とも連携を図る。 ②海外で1件上演予定。 ③引き続きラインナップ公演の全演目で英語字幕を実施する。 ④⑤「4.新型コロナウイルス感染症による影響と取組」にて記述。	R5年度以降に向けて… ①連携協定を締結した国内拠点劇場にて、令和5年度に穂の国とよはし芸術劇場、演劇「エンジェルス・イン・アメリカ」・札幌文化芸術劇場: オペラ「サロメ」・ロームシアター京都: 高井校生のためのオペラ鑑賞教室2023「魔笛」の公演を予定。他劇場を含めて引き続き連携を図る。 ②ポーランド国立歌劇場でR4年4月に実施予定だったがウクライナへのロシア軍侵襲により中止された。但し、数年のうちに上演予定。また、R5年度には「シモン・ボッカネグラ」のフィンランド国立歌劇場、テアトロ・レアルとの国際共同制作を予定している。当該演目は新国立劇場で初演された後に、両劇場で上演予定。 ③本事業で制作した英語字幕を活用して、引き続きラインナップ公演の全演目で英語字幕を実施する。 ④⑤「4.新型コロナウイルス感染症による影響と取組」にて記述。	(達成率の根拠) ①R4年度実績: 6件/上方修正目標: 6件 ②R4年度実績: 3件(中止公演の上演予定を含む)/初年度目標: 3件 ③R4年度実績: 全演目/上方修正目標: 全演目 ④R4年度実績: 62,240回/新規設定目標: 1,000回 ⑤R4年度実績: 8本/新規設定目標: 2本	

<b>3 戦略的芸術文化創造推進事業における課題解決への成果の他に、得られた成果や波及効果について</b>			
(1) 成果内容		(2) 今後、成果を生かせる事業や取組	
<p>本事業における国際的なネットワーク強化の取組として、オペラ・ヨーロッパ及びアジア太平洋フォーミング・アーツ・センター連盟 (AAPPAC) に継続して参加してきた。こうした国際的なネットワーク強化により、本事業で実施してきた国際共同制作のほかに以下の成果を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年1月に、台湾の台中国家歌劇院にて、新国立劇場が制作したオペラ「蝶々夫人」・バレエ「くるみ割り人形」の上映会が実施された。</li> <li>・令和3年2月に、台湾の台中国家歌劇院にて、新国立劇場が制作したオペラ「エウゲニオ・オネーギン」「魔笛」・バレエ「ドン・キホーテ」「竜宮」「くるみ割り人形」の上映会が実施された。</li> </ul> <p>※令和3年度及び令和4年度は戦略的芸術文化創造推進事業の取組として、台中国家歌劇院での上映会で新国立劇場が制作した公演の映像が活用された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年3月に、世界最大級のオペラ配信プラットフォームであるOperaVisionのパートナーとなった。(OperaVisionとは、オペラ・ヨーロッパがオペラという文化芸術の伝承と発展のために世界中の観客に向けて優れたオペラ公演を無料で配信・提供することを目的として立ち上げたプロジェクトのこと)</li> <li>・令和4年12月に、台湾の台中国家歌劇院にて、新国立劇場が所有するプロダクション、オペラ「魔笛」が上演された。上演に際して、新国立劇場のPRブース設置やチラシ配布を行い、広報活動を実施した。</li> </ul>		<p>新国立劇場はワールド・オペラ・デーに継続して参加しており、OperaVisionで映像を配信してきた。OperaVisionのパートナーとなったことで、世界に向けた公演映像配信の継続的なプラットフォームを得られた。R5年3月末時点においてオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」、オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」の公演映像を配信している。今後もOperaVisionを活用して世界への発信を強化していく。台中国家歌劇院の公演映像上映会に、新国立劇場の公演映像を提供するなど、当該劇場と有効な関係を構築している。今後も新国立劇場が所有するプロダクションのレンタルを検討し、アジア地域での国際展開を強化していく。</p>	
<b>4 新型コロナウイルス感染症による影響と取組について</b>			
(1) 影響	(2) 中止・延期をせず、事業実施するための努力	(3) コロナ拡大の影響を通して得たもの、知見	(4) 今後、同様の感染症拡大が起こったことを見据えた取組
<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発出等により、以下のオペラ公演が中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度(令和元年度)オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」</li> <li>・令和2年度オペラ「ジュリオ・チェザレ」「ホフマン物語」「サロメ」「ニルンベルクのマイスタージンガー」「スーパーエンジェル」</li> <li>・令和3年度オペラ「ルチア」(一部中止)</li> </ul>	<p>新国立劇場における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインを設けて、感染防止に努めた公演の実施に努力した。</p> <p>その上で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日観光客へのチケット販売が見込めない中でも、新国立劇場の国際市場におけるブランド確立を目指して、新国立劇場制作演目の①国外に向けた映像配信、②国外における映像活用に取り組むこととした。</p>	<p>①OperaVisionで、令和3年度にオペラ「カルメン」、令和4年度にオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」「ボリス・ゴドゥノフ」の公演映像を配信した。また、新国立劇場シアターを開設して、令和3年度にオペラ「アルマゲドン」の夢」、令和4年度にオペラ「ドン・パスクワレ」「魔笛」「チェネレントラ」の公演映像を配信した。上記配信の国外での再生回数は令和5年3月31日時点で計62,240回となった。</p> <p>②上記のOperaVisionでの活用のほかに、国外の劇場で以下の公演映像の上映が実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3/10/10 オペラ「トゥーランドット」@中国国家大劇院</li> <li>・R4/2/2 オペラ「スーパーエンジェル」@台中国家歌劇院</li> <li>・R4/11/21 オペラ「カルメン」@中国国家大劇院</li> <li>・R5/1/16 オペラ「チェネレントラ」@中国国家大劇院</li> <li>・R5/1/25 オペラ「チェネレントラ」@台中国家歌劇院</li> </ul>	<p>今後も、OperaVision及び新国立デジタルシアターを活用した公演映像配信並びに海外劇場での公演映像上映会を展開していく。また、新たな取組として、令和5年度にオペラ「ラ・ボエーム」において、劇場での公演実施と併せて、ライブ/オンデマンド配信(有料)を実施する。</p> <p>本事業で得られた、配信及び上映会の知見を活用して、国際市場における新国立劇場のブランド向上に努めていく。</p>
<b>5 1～4以外に、貴団体において周知したいこと</b>			
感想・評判			

## 平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業

### ①オペラ「紫苑物語」の制作

◎平成31年2月17日（日）、20日（水）、23日（土）、24日（日） 全4回

◎新国立劇場オペラ劇場

◎新制作 創作委嘱作品 世界初演

◎有料入場者数：5,909名

◎International Opera Awards 2020のWorld Premiere部門でファイナリストとして選出された

原作：石川 淳 台本：佐々木幹郎 作曲：西村 朗

指揮：大野和士 演出：笈田ヨシ

美術：トム・シェンク 衣裳：リチャード・ハドソン

照明：ルッツ・デッペ 振付：前田清実 監修：長木誠司

舞台監督：高橋尚史

宗頼：高田智宏 平太：大沼 徹(2/17, 2/24)、松平 敬(2/20, 2/23)

うつろ姫：清水華澄 千草：臼木あい 藤内：村上敏明

弓麻呂：河野克典 父：小山陽二郎 家来：川村章仁

合唱指揮：三澤洋史

合唱：新国立劇場合唱団

管弦楽：東京都交響楽団

撮影：寺司正彦



## ②国際広報宣伝の充実

### 【海外音楽雑誌記者を招いた広報活動】

海外の主要なオペラに関するメディアの記者を招聘、劇場の取組や作品を取材してもらうことにより、記事掲載に結実させた。

#### <掲載実績>

- ・独・墺：Das Opernglas（2018年7/8月号）
- ・英：Opera（2018年7月号、2018年9月号）

### 【海外音楽雑誌記者を招いた広報活動】

Opera誌（英）記者を新国立劇場2018/2019シーズンオペラ公演に招聘し、記事掲載に結実させた。

#### <掲載実績>

- ・「魔笛」（オペラ誌2019年2月号）
- ・「カルメン」「ファルスタッフ」（オペラ誌2018年10月号）

### 【オペラ「紫苑物語」プレスツアーの実施】

海外9社7名の音楽メディア記者を招聘し、オペラ「紫苑物語」を鑑賞いただくとともに、海外プレス向け 記者会見や個別インタビューを実施することにより、公演評及び関連記事の掲載に結実させた。

#### <海外プレス向け記者会見/個別インタビュー>

- ・平成31年2月21日 新国立劇場内レストランマエストロにて実施、6社5名が参加
- ・平成31年2月24日 サロンにて個別インタビュー実施、2社2名

#### <掲載実績>

- ・韓：Asia Today紙（2月27日号 韓国語版）（3月6日英語版）
- ・仏：Opera Magazine誌（3月19日号ウェブサイト）（4月号雑誌）
- ・米：Opera Today 紙（3月17日号ウェブサイト）
- ・伊：Rivista Musica誌（3月末ウェブサイト）（4月号雑誌）

### 【ウェブメディアを中心とする海外広告出稿】

主にウェブメディアを利用することによって低廉かつ効果的に国際的な広報宣伝発信を行った。

#### <出稿実績>

- ・Googleリスティング広告（5月～9月）
- ・訪日外国人向け「TimeOut東京Map」への広告掲載（5万部発行、7月より6か月程度都内ホテルや観光案内所などで配布）
- ・「TimeOut」ウェブサイトの特集記事を掲載（9月4日～）
- ・海外向けバナー広告を作成し、「TimeOut」ウェブサイトに掲載（9月24日～30日）
- ・Googleリスティング広告（10月～12月）
- ・訪日外国人向け「TimeOut東京Map」への広告掲載（12月発行、5万部）
- ・海外音楽情報サイト「Bachtrack」への情報掲載（2月12日～）
- ・訪日外国人観光客向け「ジャパンガイドWEBサイト」へのバナー広告掲載（10月1日～2月28日）

### 【海外向け新国立劇場紹介動画制作】

新国立劇場の紹介映像及び2018/2019シーズンオペラの紹介映像を英語にて制作し、YouTube及び新国立劇場英語ホームページにて公開（5月25日～）したほか、スペインのテアトロ・レアル（王立劇場）での新国立劇場映像上映会（7月）、インバウンド見本市にて使用した。

### 【外国人向けホームページの充実】

新国立劇場に興味を持った外国人へのさらなる情報の提供手段として、英語公式ホームページを外国人デザイナーによりリニューアルした。（11月1日公開）

#### <英語公式ホームページのコンテンツ充実>

- ・新国立劇場オペラ公演について、英語公式ホームページに英文解説及びあらすじを掲載

### 【オペラ公演プログラム英文ページの充実】

オペラ「魔笛」「紫苑物語」の公演プログラムに英語のページを追加した。

### 【新国立劇場紹介英文パンフレットの製作】

新国立劇場紹介英文パンフレットを製作し、都内主要ホテル、観光案内所に送付した。

## ③国内観光産業との連携を通じたインバウンド対策

### 【インバウンド見本市への出展】

平成30年9月20日～22日に東京ビッグサイトにて行われた、政府観光局主催のインバウンドの大規模商談会「VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2018」に参加し、3日間で計86件の商談を実施した。

### 【観光施設での舞台美術展の開催】

平成31年1月25日～27日に、神明明神文化交流館において、インバウンドを対象とした新国立劇場オペラ舞台美術展を開催した。オペラの舞台衣裳、舞台装置模型、写真付きパネル等を展示するとともに、26日及び27日にはオペラ研修所修了生のユニット「PIVOT!」によるミニコンサートを開催した。多くの参拝客が訪れる施設での開催により、総入場者数2,077名を得た。

## ④新国立劇場の持つ世界水準のオペラの英語字幕化

### 【オペラ公演における英語字幕の表示】

- ・オペラ「魔笛」の英語字幕を製作し、10月の公演にて表示した。
- ・オペラ「紫苑物語」の英語字幕を製作し、2月の公演にて表示した。

## ⑤ネットワーク強化・後年度事業の準備

### 【国内拠点劇場との連携協定】

今後の共同制作や全国公演等を見据え、国内拠点劇場と連携協定を結んだ。

#### <締結実績>

- ・東京文化会館との連携・協力に関する協定
- ・滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールとの連携・協力に関する協定

### 【共同制作交渉・契約等】

後年度の海外劇場との共同制作等に向けた交渉、公演の準備のための交渉・契約を行った。

## 2019年度（平成31年度／令和元年度）戦略的芸術文化創造推進事業

### ①オペラ「トゥーランドット」の制作

◎令和元年7月18日（木）、20日（土）、21日（日）、22日（月） 全4回

◎新国立劇場オペラ劇場

◎新制作

◎共同制作：東京文化会館

◎有料入場者数：6,560名

指揮：大野和士

演出：アレックス・オリエ

美術：アルフォンス・フローレス

衣裳：リュック・カステイス

照明：ウルス・シェーネバウム

演出補：スサナ・ゴメス

舞台監督：菅原多敢弘

#### <7月18・20・22日>

トゥーランドット：イレーネ・テオリン

カラフ：テオドール・イリンカイ

リユー：中村恵理

ティムール：リッカルド・ザネッラート

アルトゥム皇帝：持木 弘

ピン：榎 貴志      パン：与儀 巧

ボン：村上敏明      官吏：豊嶋祐壺

#### <7月21日>

トゥーランドット：ジェニファー・ウィルソン

カラフ：デヴィッド・ボメロイ

リユー：砂川涼子

ティムール：妻屋秀和

アルトゥム皇帝：持木 弘

ピン：森口賢二      パン：秋谷直之

ボン：糸賀修平      官吏：成田 真

合唱指揮：三澤洋史

合唱：新国立劇場合唱団／藤原歌劇団合唱部／びわ湖ホール声楽アンサンブル

児童合唱：TOKYO FM 少年合唱団

管弦楽：バルセロナ交響楽団

撮影：寺司正彦





## ②国際広報宣伝の充実

### 【海外音楽雑誌記者を招いた広報活動】

Opera誌（英）記者を新国立劇場2018/2019シーズン及び2019/2020シーズンオペラ公演に招聘し、記事掲載に結実させた。

#### <掲載実績>

- ・「ドン・ジョヴァンニ」「蝶々夫人」（オペラ誌2019年10月号）
- ・「トゥーランドット」（オペラ誌2019年11月号）
- ・「エウゲニ・オネーギン」（オペラ誌2020年1月号）
- ・「ドン・パスクワレ」「椿姫」（ウェブサイト「オペラトゥデイ」掲載）
- ・「ラ・ボエーム」「セビリアの理髪師」（オペラ誌2020年7月号）

### 【オペラ「トゥーランドット」プレスツアーの実施】

海外11社9名の音楽メディア記者を招聘し、オペラ「トゥーランドット」を鑑賞いただくとともに、海外プレス向け記者会見や個別インタビューを実施することにより、公演評及び関連記事の掲載に結実させた。

#### <海外プレス向け懇談会/個別インタビュー>

- ・7月19日 新国立劇場オペラ劇場ホワイエ2階下手にて海外プレス向け懇談会を実施、9社7名が参加
- ・7月19日 サロンにて個別インタビューを実施、2社2名

#### <掲載実績>

- ・仏：Forum Opera（7月21日 ウェブ掲載）
- ・英：Bachtrack（7月21日 ウェブ掲載）
- ・韓：国民日報（7月22日 ウェブ掲載）
- ・西：La Vanguardia（7月22日 ウェブ掲載）
- ・西：La Vanguardia（7月23日 Twitter掲載）
- ・西：La Vanguardia（7月23日 Twitterラジオ掲載）
- ・西：La Vanguardia（7月23日 ウェブ/新聞掲載）
- ・白：rtbf audio（7月22日 ウェブラジオ放送）
- ・濠：Limelight Magazine（7月29日 ウェブ掲載）
- ・中：音楽周报（7月31日 新聞掲載）
- ・台：Performing Arts Review（8月号雑誌掲載）
- ・白：rtbf audio（8月27日 ウェブラジオ（大野監督インタビュー）放送）
- ・濠：Limelight Magazine（9月号 雑誌掲載）
- ・独：Das Opernglas（10月号 雑誌掲載）

<p>【ウェブメディアを中心とする海外広告出稿】</p> <p>主にウェブメディアを利用することによって低廉かつ効果的に国際的な広報宣伝発信を行った。</p> <p>&lt;出稿実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Googleリスティング広告（6月～1月）</li> <li>・訪日外国人向け「TimeOut東京Map」への広告掲載（6月・12月発行）</li> <li>・訪日外国人向け「TimeOut東京ウェブサイト」への記事掲載（9月）</li> <li>・海外ウェブサイト「bachtrack」への情報掲載（1月）</li> </ul> <p>【外国人向けホームページの充実】</p> <p>新国立劇場に興味を持った外国人へのさらなる情報の提供手段として、英語公式ホームページ用のコンテンツを充実させた。</p> <p>&lt;英語公式ホームページのコンテンツ充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立劇場オペラ・バレエ公演について、英語公式ホームページにあらすじを掲載した。</li> <li>・英語公式ホームページに演出家・歌手のインタビュー記事を掲載した。</li> <li>・英語公式ホームページに劇場紹介・ラインアップ紹介・リハーサル・インタビューの映像を掲載した。</li> </ul> <p>【オペラ公演プログラム英文ページの充実】</p> <p>オペラ「蝶々夫人」「トゥーランドット」「エウゲニ・オネーギン」「ドン・パスクワレ」「椿姫」「ラ・ボエーム」「セビリアの理髪師」の公演プログラムに英語のページを追加した。</p> <p>（「コジ・ファン・トゥッテ」の公演プログラムにも英語のページを製作したが、新型コロナウイルスの影響による公演中止に伴い印刷・販売を中止）</p>
---

<p>③国内観光産業との連携を通じたインバウンド対策</p> <p>【インバウンド見本市への出展】</p> <p>令和元年10月24日～26日にインテックス大阪（大阪国際見本市会場）にて行われた、日本政府観光局（JNTO）主催のインバウンドの大規模商談会「VISIT JAPAN Travel &amp; MICE Mart 2019」に参加し、3日間で計64件の商談を実施した。</p> <p>【観光施設での舞台美術展の開催】</p> <p>令和2年2月22日～24日に、東京スカイツリータウン東京ソラマチにおいて、インバウンドを対象とした新国立劇場「舞台美術展で巡るオペラ・バレエの世界」を開催した。オペラ・バレエの舞台衣裳、舞台装置模型、写真付きパネル等を展示するとともに、オペラ研修所修了生を中心としたオペラユニット「SOTTAKU(そったく)」によるミニコンサートを各日2回開催した。多くの観光客が訪れる施設での開催により、総入場者数1,840名を得た。</p>
--

<p>④新国立劇場の持つ世界水準のオペラの英語字幕化</p> <p>【オペラ公演における英語字幕の表示】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラ「蝶々夫人」の英語字幕を製作し、6月の公演にて表示した。</li> <li>・オペラ「トゥーランドット」の英語字幕を製作し、7月の公演にて表示した。</li> <li>・オペラ「エウゲニ・オネーギン」の英語字幕を製作し、10月の公演にて表示した。</li> <li>・オペラ「ドン・パスクワレ」の英語字幕を製作し、11月の公演にて表示した。</li> <li>・オペラ「椿姫」の英語字幕を製作し、11月～12月の公演にて表示した。</li> <li>・オペラ「ラ・ボエーム」の英語字幕を製作し、1月～2月の公演にて表示した。</li> <li>・オペラ「セビリアの理髪師」の英語字幕を製作し、2月の公演にて表示した。</li> </ul> <p>※3月のオペラ公演「コジ・ファン・トゥッテ」でも英語字幕を製作したが、新型コロナウイルスの影響により公演を中止した。</p>
---

<p>⑤ネットワーク強化・後年度事業の準備</p> <p>【海外オペラ・劇場団体への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月21日、中国国家大劇院と連携協定を締結</li> <li>・9月20日～22日、アジア太平洋パフォーミング・アーツ・センター連盟（AAPPAC）会議に参加</li> <li>・10月24日～27日、オペラ・ヨーロッパ会議に参加</li> </ul> <p>【国内拠点劇場との連携協定】</p> <p>今後の共同制作や全国公演等を見据え、国内拠点劇場と連携協定を結んだ。</p> <p>&lt;締結実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）との連携・協力に関する協定</li> <li>・公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（ロームシアター京都）との連携・協力に関する協定</li> <li>・公益財団法人豊橋文化振興財団（穂の国とよはし芸術劇場）との連携・協力に関する協定</li> </ul> <p>【共同制作交渉、契約 等】</p> <p>後年度の海外劇場との共同制作等に向けた交渉、公演の準備のための交渉等を行った。</p>
---

## 令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業

<p>①オペラ「アルマゲドンの夢」の制作</p> <p>◎令和2年11月15日（日）、18日（水）、21日（土）、23日（月・祝） 全4回</p> <p>◎新国立劇場オペラ劇場</p> <p>◎新制作 創作委嘱作品 世界初演</p> <p>◎令和2年度（第75回）文化庁芸術祭協賛公演</p> <p>◎後援：プリティッシュ・カウンシル（日英交流年「UK in Japan」参加イベント）</p> <p>◎協力：ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ文化センター</p> <p>◎有料入場者数：3,042名</p>
--



原作 : H.G. ウェルズ  
台本 : ハリー・ロス (H.G. ウェルズの同名小説による)  
作曲 : 藤倉 大

指揮 : 大野和士  
演出 : リディア・シュタイアー  
美術 : バルバラ・エーネス  
衣裳 : ウルズラ・クドルナ  
照明 : オラフ・フレーゼ  
映像 : クリストファー・コンデク  
ドラマトウルク : マウリス・レンハルト

クーパー・ヒードン : ピーター・タンジッツ  
フォートナム・ロスコー/ジョンソン・イーヴシャム : セス・カリコ  
ベラ・ロジニア : ジェシカ・アゾーディ  
インスペクター : 加納悦子  
歌手/冷笑者 : 望月哲也  
兵士 (ボーイソプラノソロ/交替出演) : 長峯佑典、原田倫太郎、関根佳都

合唱指揮 : 富平恭平  
児童ソリスト指導 : 米屋恵子  
舞台監督 : 高橋尚史

合唱 : 新国立劇場合唱団  
管弦楽 : 東京フィルハーモニー交響楽団

撮影 : 寺司正彦





## ②国際広報宣伝の充実

### 【海外音楽雑誌記者を招いた広報活動】

Opera誌（英）記者を新国立劇場2020/2021シーズンオペラ公演に招聘し、記事掲載に結実させた。

#### <掲載実績>

- ・「夏の夜の夢」（オペラ誌2020年12月号）
- ・「アルマゲドンの夢」（オペラ誌2021年2月号）
- ・「こうもり」（オペラ誌2021年3月号）
- ・「トスカ」「フィガロの結婚」（オペラ誌2021年4月号）

### 【ウェブメディアを中心とする海外広告出稿】

主にウェブメディアを利用することによって低廉かつ効果的に国際的な広報宣伝発信を行った。

#### <出稿実績>

- ・Googleリスティング広告（6月・11月）
- ・訪日外国人向け「TimeOut東京Map」への広告掲載（6月発行）
- ・海外専門サイト「Bachtrack」（英）への広告掲載（9月）

### 【外国人向けホームページの充実】

新国立劇場に興味を持った外国人へのさらなる情報の提供手段として、英語公式ホームページ用のコンテンツを充実させた。

#### <英語公式ホームページのコンテンツ充実>

- ・新国立劇場合唱団によるベートーヴェン作曲「交響曲第九番」第4楽章（抜粋）の特別動画を配信（ワールド・オペラ・デー2020に参加して、上記の特別動画を世界中のオペラファンに向けて配信した）
- ・大野和士オペラ芸術監督並びにオペラ「アルマゲドンの夢」作曲家及び演出家のメッセージ動画（英語字幕付き）を配信
- ・大野オペラ芸術監督のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「アルマゲドンの夢」作曲家のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「アルマゲドンの夢」演出家のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・新国立劇場オペラ公演について、あらすじを掲載

### 【オペラ公演プログラム英文ページの充実】

オペラ「夏の夜の夢」「アルマゲドンの夢」「こうもり」「トスカ」「フィガロの結婚」「ワルキューレ」の公演プログラムに英語のページを追加した。

## ③国内観光産業との連携を通じたインバウンド対策

### 【JNTOインバウンドセミナーへ参加】

令和2年10月29日に沖縄コンベンションセンターにて行われた、日本政府観光局（JNTO）主催の「インバウンドセミナー in 沖縄」に参加した。

### 【観光施設での舞台美術展の開催】

令和3年2月27日～28日に、東京スカイツリータウン東京ソラマチにおいて、インバウンドを対象とした新国立劇場「舞台美術展で巡るオペラ・バレエの世界」を開催した。オペラ・バレエの舞台衣裳、舞台装置模型、写真付きパネル等を展示するとともに、ミニコンサートを各日3回開催した。多くの観光客が訪れる施設での開催により、総入場者数1,449名を得た。

#### ④新国立劇場の持つ世界水準のオペラの英語字幕化

##### 【オペラ公演における英語字幕の表示】

オペラ「夏の夜の夢」の英語字幕を製作し、10月の公演にて表示した。

オペラ「アルマゲドンの夢」の公演にて英語字幕を表示した。

オペラ「こうもり」の英語字幕を製作し、11月～12月の公演にて表示した。

オペラ「トスカ」の英語字幕を製作し、1月～2月の公演にて表示した。

オペラ「フィガロの結婚」の英語字幕を製作し、2月の公演にて表示した。

オペラ「ワルキューレ」の英語字幕を製作し、3月の公演にて表示した。

※オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」の英語字幕を製作した。令和3年度11月～12月の公演にて表示した。

#### ⑤ネットワーク強化・後年度事業の準備

##### 【海外オペラ・劇場団体への参加】

・9月9日～10日、北京舞台芸術フォーラム設立総会にオンラインにて参加

・10月30日、アジア太平洋パフォーミング・アーツ・センター連盟（AAPPAC）会議にオンラインにて参加

・11月18日～20日、オペラ・ヨーロッパ会議にオンラインにて参加

##### 【国内拠点劇場との連携協定】

今後の共同制作や全国公演等を見据え、国内拠点劇場と連携協定締結に向けて交渉を行った。

##### 【共同制作交渉、契約 等】

後年度の海外劇場との共同制作等に向けた交渉、公演の準備のための交渉等を行った。

### 令和3年度戦略的芸術文化創造推進事業

#### ①オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」の制作

◎令和3年11月18日（木）、21日（日）、24日（水）、28日（日）、12月1日（水） 全5回公演

◎新国立劇場オペラ劇場

◎新制作

◎共同制作：東京文化会館／ザルツブルク・イースター音楽祭／ザクセン州立歌劇場

◎令和3年度（第76回）文化庁芸術祭協賛公演

◎後援：ドイツ連邦共和国大使館、ゲーテ・インスティトゥート東京

◎協力：日本ワーグナー協会

◎有料入場者数：7,377名

指揮：大野和士

演出：イェンス＝ダニエル・ヘルツォーク

美術：マティス・ナイトハルト 衣裳：シビル・ゲデケ

照明：ファビオ・アントーチ 振付：ラムセス・ジグル

演出補：ハイコ・ヘンチェル 舞台監督：高橋尚史

ハンス・ザックス：トーマス・ヨハネス・マイヤー

ファイト・ポーグナー：ギド・イェンティンス

クンツ・フォーゲルゲザング：村上公太

コンラート・ナハティガル：与那城 敬

ジクストウス・ベックメッサー：アドリアン・エレート

フリッツ・コートナー：青山 貴

バルタザール・ツォルン：秋谷直之

ウルリヒ・アイスリンガー：鈴木 准

アウグスティン・モーザー：菅野 敦

ヘルマン・オルテル：大沼 徹

ハンス・シュヴァルツ：長谷川 顯

ハンス・フォルツ：妻屋秀和

ヴァルター・フォン・シュトルツィング：シュテファン・フィンケ

ダーヴィット：伊藤達人

エーファ：林 正子

マグダレーネ：山下牧子

夜警：志村文彦

合唱指揮：三澤洋史

合唱：新国立劇場合唱団、二期会合唱団

管弦楽：東京都交響楽団

撮影：堀田力丸



## ②国際広報宣伝の充実

### 【海外音楽雑誌記者を招いた広報活動】

Opera誌（英）記者デイヴィッド・チャンドラー氏（京都在住）を新国立劇場2020/2021シーズン・2021/2022シーズンオペラ公演に招聘し、記事掲載に結実させた。

<掲載実績>

- ・「夜鳴きうぐいす／イオランタ」（オペラ誌2021年8月号）
- ・「ドン・カルロ」（オペラ誌2021年9月号）
- ・「カルメン」（オペラ誌2021年10月号）
- ・「チェネレントラ」（オペラ誌2022年2月号）
- ・「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「蝶々夫人」（オペラ誌2022年3月号）
- ・「さまよえるオランダ人」「愛の妙薬」（オペラ誌2022年4月号）

### 【ウェブメディアを中心とする海外広告出稿】

主にウェブメディアを利用することによって低廉かつ効果的に国際的な広報宣伝発信を行った。

<出稿実績>

- ・Googleリスティング広告（4月～翌3月）
- ・海外専門サイト「Bachtrack」（英）への広告掲載（5月・翌3月）

#### 【外国人向けホームページの充実】

新国立劇場に興味を持った外国人へのさらなる情報の提供手段として、英語公式ホームページ用のコンテンツを充実させた。

##### <英語公式ホームページのコンテンツ充実>

- ・新国立劇場2021/2022シーズン オペラ公演紹介動画（英語）を掲載
- ・オペラ「チェネレントラ」演出：栗園 淳のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「チェネレントラ」アンジェリーナ役：脇園 彩のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」指揮：大野和士オペラ芸術監督のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」ジクストウス・ベックメッサー役：アドリアン・エレートのインタビュー記事（英語）を掲載
- ・新国立劇場オペラ公演について、あらすじを掲載

#### 【オペラ公演プログラム英文ページの充実】

オペラ「夜鳴きうぐいす/イオランタ」「ルチア」「ドン・カルロ」「カルメン」「チェネレントラ」「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「蝶々夫人」「さまよえるオランダ人」「愛の妙薬」「椿姫」の公演プログラムに英語のページを追加した。

### ③国内観光産業との連携を通じたインバウンド対策

#### 【インバウンド見本市への出展】

令和4年3月1日～3日に完全オンライン形式にて行われた、日本政府観光局（JNTO）主催のインバウンドの大規模商談会「VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2021」に参加し、3日間で計16件（アジア7か国・地域）の商談を実施した。

#### 【観光施設での舞台美術展の開催】

令和4年2月19日～20日に、東京スカイツリータウン東京ソラマチにおいて、インバウンドを対象とした新国立劇場「舞台美術展で巡るオペラ・バレエの世界」を開催した。オペラ・バレエの舞台衣裳、舞台装置模型、ポスター、パネル等を展示、チラシ、当日配布プログラム、及び展示演目表示ボード等を和英併記とした。また、ミニコンサートを各日3回開催。多くの観光客が訪れる施設での開催により、総入場者数1,358名を得た。

### ④新国立劇場の持つ世界水準のオペラの英語字幕化

#### 【オペラ公演における英語字幕の表示】

オペラ「夜鳴きうぐいす/イオランタ」の英語字幕を製作し、4月の公演にて表示した。  
オペラ「ルチア」の英語字幕を製作し、4月の公演にて表示した。  
オペラ「ドン・カルロ」の英語字幕を製作し、5月の公演にて表示した。  
オペラ「カルメン」の英語字幕を製作し、7月の公演にて表示した。  
オペラ「チェネレントラ」の英語字幕を製作し、10月の公演にて表示した。  
オペラ「ニュルンベルクのマイスタージンガー」の英語字幕を11月～12月の公演にて表示した。  
オペラ「蝶々夫人」の英語字幕を12月の公演にて表示した。  
オペラ「さまよえるオランダ人」の英語字幕を製作し、1月～2月の公演にて表示した。  
オペラ「愛の妙薬」の英語字幕を製作し、2月の公演にて表示した。  
オペラ「椿姫」の英語字幕を3月の公演にて表示した。

### ⑤ネットワーク強化・後年度事業の準備

#### 【海外オペラ・劇場団体への参加】

- ・5月20日～21日、オペラ・ヨーロッパ会議にオンラインにて参加
- ・10月28日～29日、アジア太平洋パフォーミング・アーツ・センター連盟（AAPPAC）会議にオンラインにて参加
- ・11月1日、大邱ユネスコオペラ・フォーラムにオンラインにて参加
- ・11月29日～30日、北京舞台芸術フォーラム会議にオンラインにて参加

#### 【国内拠点劇場との連携協定】

今後の共同制作や全国公演等を見据え、国内拠点劇場と連携協定締結を結んだ。

##### <締結実績>

上田市交流文化芸術センター（サントミュージゼ）と連携・協力に関する協定

#### 【共同制作交渉、契約 等】

後年度の海外劇場との共同制作等に向けた交渉、公演の準備のための交渉等を行った。

### ⑥新国立劇場公演映像の配信等

#### 【海外サイトを利用した公演映像の海外配信】

- ・令和3年10月18日～令和4年1月18日に「カルメン」の公演映像をOpera Visionで無料配信した。
- ・令和3年10月25日に2021年のワールド・オペラ・デーとして新国立劇場オペラ研修所の映像を活用した動画をOpera Visionで無料配信した。（令和4年4月25日までアーカイブ配信予定）

#### 【公演映像の海外上映】

- ・令和3年10月10日に北京の中国国家大劇院で「トゥーランドット」の公演映像の上映会（参加費無料）が実施された。
- ・令和4年2月2日に台湾の台中国家歌劇院で「Super Angels スーパーエンジェル」の公演映像の上映会（参加費無料）が実施された。

#### 【公演映像の配信】

- ・令和3年12月24日～令和4年1月14日に「セビリアの理髪師」の公演映像を新国デジタルシアターで無料配信した。
- ・令和4年1月28日～2月28日に「アルマゲドンの夢」の公演映像を新国デジタルシアターで無料配信した。

## 令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業

### ①オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」の制作

◎令和4年11月15日（火）、17日（木）、20日（日）、23日（水・祝）、26日（土） 全5回公演

◎新国立劇場オペラ劇場

◎新制作

◎共同制作：ポーランド国立歌劇場

◎令和4年度（第77回）文化庁芸術祭協賛公演

◎有料入場者数：5,823名

指揮：大野和士

演出：マリウシュ・トレリンスキ

美術：ボリス・クドルチカ

衣裳：ヴォイチェフ・ジエジツ

照明：マルク・ハインツ

映像：バルテック・マシス

ドラマトウルク：マルチン・チェコ

振付：マチコ・ブルサク

ヘアメイクデザイン：ヴァルデマル・ポクロムスキ

舞台監督：高橋尚史

ボリス・ゴドゥノフ：ギド・イエンティンス

フョードル：小泉詠子

クセニア：丸嶋香奈枝

乳母：金子美香

ヴァシリー・シュイスキー公：アーノルド・ベズイエン

アンドレイ・シチェルカーロフ：秋谷直之

ピーメン：ゴデルジ・ジャネリーゼ

グリゴリー・オトレピエフ（偽ドミトリー）：工藤和真

ヴァルラーム：河野鉄平

ミサイール：青地英幸

女主人：清水華澄

聖愚者の声：清水徹太郎

ニキーティチ／役人：駒田敏章

ミチューハ：大塚博章

侍従：濱松孝行

フョードル-聖愚者（黙役）：ユスティナ・ヴァシレフスカ

合唱指揮：富平恭平

合唱：新国立劇場合唱団

児童合唱：TOKYO FM 少年合唱団

管弦楽：東京都交響楽団

撮影：堀田力丸





## ②国際広報宣伝の充実

### 【海外音楽雑誌記者を招いた広報活動】

Opera誌（英）記者を新国立劇場2021/2022シーズン・2022/2023シーズンオペラ公演に招聘し、記事掲載に結実させた。

<掲載実績>

- ・「ばらの騎士」「魔笛」（オペラ誌2022年7月号）
- ・「オルフェオとエウリディーチェ」（オペラ誌2022年8月号）
- ・「ペレアスとメリザンド」（オペラ誌2022年10月号）
- ・「ジュリオ・チェーザレ」（オペラ誌2022年12月号）
- ・「ボリス・ゴドゥノフ」（オペラ誌2023年2月号）
- ・「ドン・ジョヴァンニ」（オペラ誌2023年3月号）

### 【ウェブメディアを中心とする海外広告出稿】

主にウェブメディアを利用することによって低廉かつ効果的に国際的な広報宣伝発信を行った。

<出稿実績>

- ・Googleリスティング広告（4月～翌3月）
- ・海外専門サイト「Bachtrack」（英）への広告掲載（9月）

### 【外国人向けホームページの充実】

新国立劇場に興味を持った外国人へのさらなる情報の提供手段として、英語公式ホームページ用のコンテンツを充実させた。

<英語公式ホームページのコンテンツ充実>

- ・新国立劇場2022/2023シーズン オペラ公演紹介動画（英語）を掲載
- ・新国立劇場2022/2023シーズン 大野和士オペラ芸術監督のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」指揮：鈴木優人のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」演出・振付・美術・衣裳・照明：勅使川原三郎のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「ジュリオ・チェーザレ」ジュリオ・チェーザレ役：マリアンネ・ベアーテ・キーランドのインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「ジュリオ・チェーザレ」トロメオ役：藤木大地のインタビュー記事（英語）を掲載
- ・オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」演出：マリウシュ・トレリンスキのインタビュー記事（英語）を掲載
- ・新国立劇場オペラ公演について、あらすじを掲載

### 【オペラ公演プログラム英文ページの充実】

オペラ「ばらの騎士」「魔笛」「オルフェオとエウリディーチェ」「ペレアスとメリザンド」「ジュリオ・チェーザレ」「ボリス・ゴドゥノフ」「ドン・ジョヴァンニ」「タンホイザー」「ファルスタッフ」「ホフマン物語」の公演プログラムに英語のページを追加した。

### ③国内観光産業との連携を通じたインバウンド対策

#### 【インバウンド見本市への出展】

令和4年9月22日～24日に東京ビッグサイト（東京国際展示場）で行われた、日本政府観光局（JNTO）主催のインバウンドの大規模商談会「VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2022」に参加し、3日間で計33件（17か国・地域）の商談を実施した。

#### 【観光施設での舞台美術展の開催】

令和5年2月4日～5日に、東京スカイツリータウン東京ソラマチにおいて、インバウンドを対象とした新国立劇場「舞台美術展で巡るオペラ・バレエの世界」を開催した。オペラ・バレエの舞台衣裳、舞台装置模型、舞台小道具、ポスター、パネル等を展示、チラシ、当日配布プログラム、及び展示演目表示ボード等を和英併記とした。また、ミニコンサートを各日3回開催。多くの観光客が訪れる施設での開催により、総入場者数1,735名を得た。

### ④新国立劇場の持つ世界水準のオペラの英語字幕化

#### 【オペラ公演における英語字幕の表示】

オペラ「ばらの騎士」の英語字幕を製作し、4月の公演にて表示した。

オペラ「魔笛」の英語字幕を4月の公演にて表示した。

オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」の英語字幕を製作し、5月の公演にて表示した。

オペラ「ペレアスとメリザンド」の英語字幕を製作し、7月の公演にて表示した。

オペラ「ジュリオ・チェザレ」の英語字幕を10月の公演にて表示した。

オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」の英語字幕を製作し、11月の公演にて表示した。

オペラ「ドン・ジョヴァンニ」の英語字幕を製作し、12月の公演にて表示した。

オペラ「タンホイザー」の英語字幕を製作し、1月～2月の公演にて表示した。

オペラ「ファルスタッフ」の英語字幕を製作し、2月の公演にて表示した。

オペラ「ホフマン物語」の英語字幕を3月の公演にて表示した。

### ⑤ネットワーク強化・後年度事業の準備

#### 【海外オペラ・劇場団体への参加】

・10月19日～21日、アジア太平洋パフォーミング・アーツ・センター連盟（AAPPAC）会議に参加

・11月17日～18日、オペラ・ヨーロッパ会議に参加

・12月8日～9日、北京舞台芸術フォーラム会議にオンラインにて参加

#### 【国内拠点劇場との連携協定】

今後の共同制作や全国公演等を見据え、国内拠点劇場との連携に取り組んだ。

#### 【共同制作交渉、契約等】

後年度の海外劇場との共同制作等に向けた交渉、公演の準備のための交渉等を行った。

### ⑥新国立劇場公演映像の配信等

#### 【海外サイトを利用した公演映像の海外配信】

・令和4年10月7日深夜から「オルフェオとエウリディーチェ」の公演映像をOpera Visionで無料配信し、10月25日のWorld Opera Dayを記念する特別配信プログラムのトップバッターを飾った。（令和5年4月7日までアーカイブ配信予定）

・令和5年3月24日深夜から「ボリス・ゴドゥノフ」の公演映像をOpera Visionで無料配信した。（令和5年9月24日までアーカイブ配信予定）

#### 【公演映像の海外上映】

・令和4年11月21日に北京の中国国家大劇院で「カルメン」の公演映像の上映会（参加費無料）が実施された。（日中国交正常化50周年認定事業）

・令和5年1月16日に北京の中国国家大劇院で「チェネレントラ」の公演映像の上映会（参加費無料）が実施された。（日中国交正常化50周年認定事業）

・令和5年1月25日に台湾の台中国家歌劇院で「チェネレントラ」の公演映像の上映会（参加費無料）が実施された。

#### 【公演映像の配信】

・令和4年7月8日～9月8日に「ドン・パスクワレ」の公演映像を新国デジタルシアターで無料配信した。

・令和4年9月16日～11月16日に「魔笛」の公演映像を新国デジタルシアターで無料配信した。

・令和4年12月2日～令和5年2月2日に「チェネレントラ」の公演映像を新国デジタルシアターで無料配信した。